

## 2024 丹波仕込みカップ (J リーグプレ大会) 競技規則

1. 下記以外、競技ルールは JHF ジャパンリーグ競技規定に準ずる。
2. ローカルルール
  - 1) セレクション
    - ・ ジャパンリーグに準じてセレクションする。ただし、①P0 主催者等枠を 20%とし、②セレクションポイントは用いずその有無を考慮しない。
  - 2) テイクオフ
    - ・ 市島エリア横峰山テイクオフを使用する。
    - ・ テイクオフの順番はランチオーダーとする。
      - 初日：前年の PJI ランキング (オープンクラス) 1~20 位までの選手は、その順位とする。21 位以下または順位のない選手はエントリー順とし、1 位以降不参加者の順位を割り付ける。
      - 2 日目以降：前日までの順位とする。
      - タスク・セーフティコミッティには、順位÷2 の順位をプライオリティとして付与する。
    - ・ テイクオフを 3 回失敗した場合、列の最後尾に回る。
  - 3) リフライト
    - ・ メインランディング場からのみリフライト送迎車を準備する。
    - ・ リフライトに関する詳細はブリーフィング時に発表する (2 日目は都合により設定しない/少なくなる予定)。
  - 4) 旋回方向
    - ・ スタート時間まで、奇数日は左、偶数日は右のセンタリングとする。
  - 5) フライト規制・禁止空域 (Air Spaces; AS)
    - ・ 横峰山西側等、高圧線の上空は 150m 以上の高さを確保して通過すること。非常に低い又は下をくぐった場合、そのフライトは 0 点とする。
    - ・ 大会ホームページの AS についてアラームを設定すること。フライトログが CTR 内に進入していた場合、そのフライトは 0 点とする。
  - 6) ランディング
    - ・ 私有地や田畑には降りず、農道や河原に降りること。私有地に降りた場合は 20% 減点とする。
    - ・ 市島メインランディングは周囲の電線に注意すること。
    - ・ AS ファイルのうち SLD はサブランディングを示す。
      - 河原など公共のスポットやパラグライダー用地は XC track 上で緑表示される。通常は比較的降りやすく道まで出やすいスポットであり参考とすること。なお、水嵩や草刈りなど当日の状況により使えない場合があるため、降りる前に十分確認すること。

□ XC track で黄色表示される SLD は、比較的降りやすいスポットであるが、車道沿いであるため十分注意すること。

- ・ ツリーラン（宙吊り）した日のフライトは 0点 とする。
- ・ ツリーランは自己の責任において回収すること。主催者側から救助が出た場合には 3 万円以上の費用がかかります。
- ・ 主催者や大会関係者に対して責任追及、損害賠償等の請求を決して行わないこと。

#### 7) 回収

- ・ 指定地外に降りた選手の回収は、自己責任のもと各自協力し合うこと。状況に応じて、回収車は着陸ポイントと最寄駅の間のみ送迎するまたは別の回収に移るなどの場合もある。
- ・ 自車を利用する場合を含め、主催者や大会関係者に対して責任追及、損害賠償等の請求を決して行わないこと。

#### 8) その他

- ・ LiveTrack24 又は XContest 上で公開してライブトラックし、かつそのログをサイト上に残すこと。 両サイトとも利用するのが望ましい。
- ・ 実行委員長が重症と判断するような怪我を負った場合は 大会失格 とする（安全に飛んでください！）。
- ・ テイクオフが狭いため、予めパラグライダーを繋いでおいてください。
- ・ 地元住民には挨拶をすること。
- ・ ライフピア市島のトイレは夜間以外、三ツ塚児童公園のトイレは終日利用可能。
- ・ 22 時以降は静かにすること。そのうえで天神練習場での車中泊やテント泊は可能。騒音に対する苦情を受けた場合は本人またはそのグループで謝罪し、大会役員に報告すること。

#### 3. 事故及び損害賠償

大会期間中の事故発生、または選手自身あるいは他者に傷害や損害が生じた場合、大会規定及びエリアルールに則り、本人の責任において速やかに処置するとともに、本部に報告すること。また主催者や大会関係者に対して責任追及、損害賠償等の請求を決して行わないこと。

#### 4. 抗議

抗議申し立ては、成績の仮発表から 30 分以内に、供託金 5 千円を添えて文書で大会本部に提出すること。